様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2025年 6 月 26 日

愛 知 県 知 事　殿

提出者
住　所　愛知県名古屋市熱田区六野1丁目3番1号
氏　名　株式会社　三五
代表取締役社長　水野　明智
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　052-882-0035

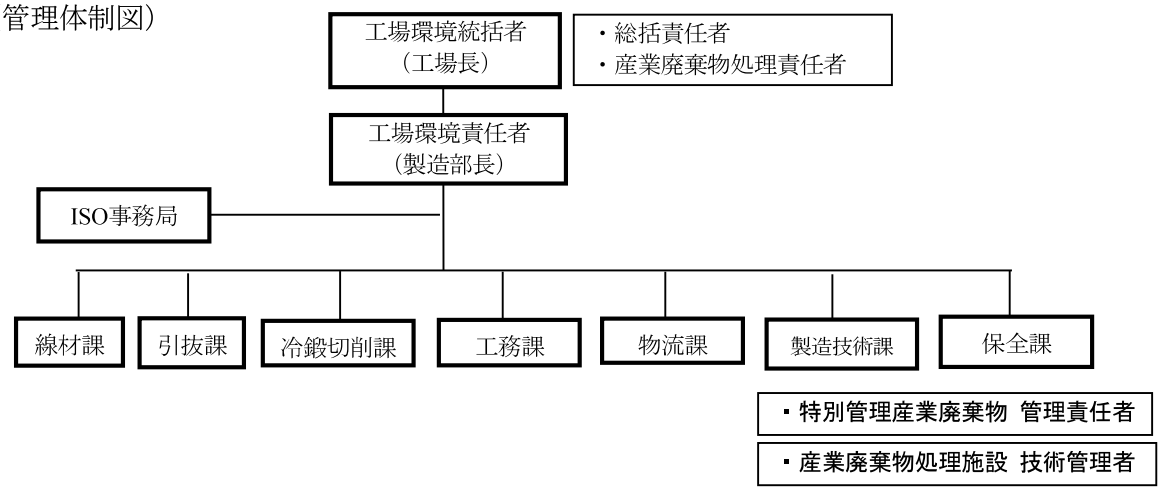
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　三五　　三好工場
事業場の所在地	愛知県みよし市三好町井ノ口47
計画期間	2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	22：鉄鋼業
②事業の規模	4,601,300 万円
③従業員数	272 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①　参照

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2024年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙②　参照		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙②　参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙②　参照
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙②　参照

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">② 現状</td><td colspan="3">【前年度（ 2024年度 ）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙②　参照</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産
業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙②　参照</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">③ 現状</td><td colspan="3">【前年度（ 2024年度 ）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産
業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙②　参照</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産
業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙②　参照</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">④　現状</td><td colspan="3">【前年度（ 2024年度 ）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙②　参照</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙②　参照</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="7">⑤ 現状</td><td colspan="3">【前年度（ 2024年度 ）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙②　参照</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱
回収を行う業者への処
理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙②　参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の6月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

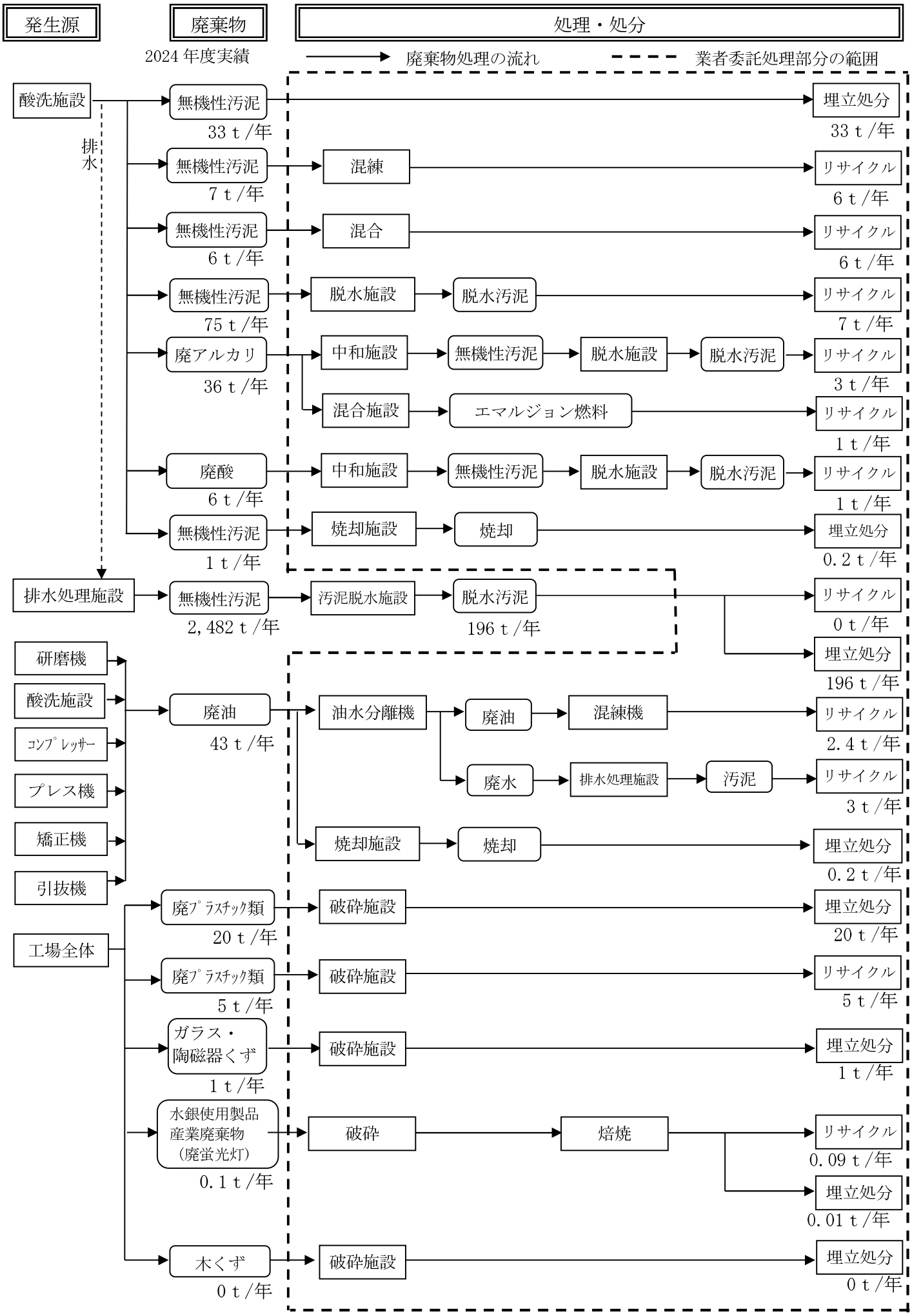
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙①　産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙②　（１／５ページ）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①　現状

【前年度（ 2024年度 ）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
排　　出　　量	2,604ｔ	43ｔ	36ｔ	6ｔ	25ｔ	1ｔ	0.1ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）
・加工油、表面処理剤の更油・更液周期の延長
・遠心分離機で一部使用済み加工油を浄油し再生利用
・補給水の流量調整による廃液排出量の低減
・汚泥の含水率低減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
排　　出　　量	2,474ｔ	42ｔ	35ｔ	6ｔ	24ｔ	2ｔ	0.1ｔ	2ｔ

（今後実施する予定の取組）
・加工油および表面処理剤の交換周期の適正化をはかる
・補給水管理により排水処理汚泥を低減
・排水処理施設の脱水設備[フィルタープレス]ろ布取替え

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・当事業場から混合廃棄物は発生していない

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・今後も発生する予定は無い

別紙②　（２／５ページ）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
① 現状	【前年度（ 2024年度 ）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
① 現状	【前年度（ 2024年度 ）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,286ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） ・排水処理施設 脱水設備の維持管理								

別紙②　（３／５ページ）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2,172t	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）
・排水処理施設 脱水設備の維持管理
・脱水設備［フィルタープレス］ ろ布の取替え

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①　現状

【前年度（ 2024年度 ）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）
・特に実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）
・実施予定なし

別紙②　（４／５ページ）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（ 2024年度 ）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
全処理委託量	318ｔ	43ｔ	36ｔ	6ｔ	25ｔ	1ｔ	0.1ｔ	0ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	284ｔ	43ｔ	36ｔ	6ｔ	5ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
再生利用業者への処理委託量	6ｔ	38ｔ	0ｔ	0ｔ	5ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）
・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を推進
・委託先処理業者[優良認定処理業者を除く]への１回/年の現地確認を実施

別紙②　（５／５ページ）

	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃ｱﾙｶﾘ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	木くず
		全処理委託量	302ｔ	42ｔ	35ｔ	6ｔ	24ｔ	2ｔ	0.1ｔ	2ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	270ｔ	42ｔ	35ｔ	6ｔ	5ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
		再生利用業者への処理委託量	6ｔ	37ｔ	0ｔ	0ｔ	5ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
		認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
		（今後実施する予定の取組） ・可能な限り優良認定処理業者への処理委託を推進する ・最終処分量低減のため、継続して再生利用業者の調査・委託を推進する ・委託先処理業者[優良認定処理業者を除く]への１回/年の現地確認を実施する								